



あやめ



in「一期一会」

文責：生徒指導主事 櫻本直弘

「強さ」を備えた「愛される部」へ

気候は一気に「夏」から「冬」へと向かうようなここ最近の様子ですが、世間ではまさに「**スポーツの秋**」**真っ只中**といったところでしょうか。

そんななか、10月下旬から11月初旬にかけて、1・2年生が主体となって戦いに挑む「新人大会」などが県内各地で開催され、櫛形中学校の各部・各選手も大いに活躍してくれました。残念ながら今回県大会にコマを進められなかった部や、思うような結果に結びつかなかった部もありますが、各部の戦いはまだ始まったばかりです。来春にはひと回り大きな花を咲かせられるよう、この冬に鍛錬を重ねましょう。

「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く」

しかし、強くなることだけがすべてなののでしょうか。強くなりさえすれば良いのでしょうか。学校部活動はそうではないですよ。笹本校長先生もよくおっしゃっていますが、「**誰からも愛される部**」「**誰からも尊敬される部**」を目指すことを忘れないでください。そのうえでの「強さ」です。

- ・陸上部 県新人大会 男子総合 優勝
- ・陸上部(駅伝) 県駅伝 女子優勝(8年連続)
男子2位

※関東大会(12月・男女)・全国大会(12月・女子)出場

- ・女子バスケット部 県新人大会 2位
- ・女子バレー部 県新人大会 3位
- ・男子バレー部 県新人大会 ベスト8
- ・弓道部 県新人大会 女子団体 優勝

※まだ大会が終了していない部もあります。そちらについては次号で紹介させていただきます。

※県大会個人成績は割愛しました。



絶好のコンディション！ 強歩大会実施

11月5日（水）曇り空の絶好のランニング日和のなか、橿形中学校強歩大会が行われました。開会式では、笹本校長先生から「**自分自身と、あるいは昨年の自分としっかり『勝負する』こと」「『感謝』の気持ちをしっかり持って走り切ること**」といった2点のお話をいただき、高野PTA会長様からも温かな励ましのお言葉をいただきました。選手宣誓では昨年度の男女最高記録選手である3年生の功刀緋彩さん・高野聖女さんが「感謝の気持ちをもって走りきる」決意を誓ってくれました。

8時50分に橿形陸上競技場を全校一斉にスタートし、約17kmのコースをそれぞれのペースで走り出しました。お手伝いいただいた保護者の方々を中心に、沿道からのたくさんの応援を受けながら、みんな真剣に走っていました。1年生にとっては、まさに「**未知への挑戦**」だったと思います。初めての17km、コースはアップ・ダウンがあり、かなりキツイと感じる生徒が多かったのではないのでしょうか。2年生は、**2回目という経験値や日々の部活動で体力もついてきている**ことから、自分の走りができた生徒もたくさんいたのではないのでしょうか。3年生にとっては、「**最後**」の強歩大会ということで、3年間の自分を振り返りながら走っていたことと思います。

長い距離を走るということは、肉体的にも精神的にも大変苦しいことだと思います。辛くて途中で立ち止まりたいと思ったことや、「何でこんなに長い距離を走らなければならないのか」と思った生徒もいたかもしれません。また、長い距離を走ることは、よく「人生」にも例えられます。人生は山あり谷ありで、良い時もあれば、悪い時もある。当然、自分に負けそうになる時もあります。そんな時、自分と闘いながら、前を向いて一歩ずつ進んでいけるような「強い心」が、この「強歩大会」には求められているのではないのでしょうか。**長い人生の中で、困難に直面した時にも、弱い心には負けることなく、あきらめずに最後まで頑張ることの大切さ**を、この「強歩大会」から体得して欲しいと思います。

なお、結果につきましては、男子優勝沢登祐心さん・女子優勝花輪珠湊さんということで、しっかりと3年生が「意地」を見せてくれました。本当におめでとうございます。

保護者の皆様には、今回も多くの方々に「協力員」として、生徒の安全確保をしていただくとともに、温かい声援をしていただき、誠にありがとうございました。生徒たちにとっても大きな励みになりました。また、今回も南アルプス警察署の方や交通安全協会の方々のご協力、ご指導のおかげで、大きなケガや事故等がなく、無事に強歩大会を終えることができました。今後も保護者の皆様、地域の方々には、橿形中学校の教育活動にご理解とご支援、ご協力をお願いします。

